

連盟	東京都実業団連盟	氏名	松浦咲
----	----------	----	-----

(1) 概要

名称	平成29年度 U32 ヤングオフィシャルキャンプ
期間	2018年1月5日(金) ~ 2018年1月6日(土) (2日間)
場所	浦安市運動公園総合体育館
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・3PO メカニクス座学、実技 ・ガイドライン(判定基準)解説 ・英語コミュニケーション実践 ・プレゼンテーション ほか
目的	若年層からFIBAレフェリー、トップリーグレフリーの育成
参加者	30名(男性22名、女性8名)

(2) 報告事項

内容
<p>■1日目 1月5日(金)</p> <p>9:00 開講式 JBA 審判部 高森英樹氏</p> <p>9:10 研修① 早期育成について (平育雄氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早い段階から日本のトップレフリーへの意識付け ・日本の国際審判資格取得者について <p>9:25 研修② 3PO メカニクスについて (上田 篤拓氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールレベルとボールライン、それぞれのポジション ・プライマリにはエリアとアングルがある ・ローテーションの3つのフェーズ(クローズダウン・ローテーション・フィニッシュ) <p>10:00 講話 (加藤誉樹氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レフリーとしての役割 ・マネジメントとコントロール <p>11:10 準備</p> <p>12:00 実技 (①平育雄氏、加藤誉樹氏 ②・③片寄達氏、漆間大悟氏)</p> <p>※内容: ハーフゲームを3POで実践。以下、講師の方々から頂いたアドバイスを記載。</p> <p>①平育雄氏より</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ローテーションを積極的に行い、良いアングルを見つけていくこと ローテーションを迷うと他のクルーを惑わせ、大きな現象も判定できない状況へと繋げてしまう <p>加藤誉樹氏より</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒どのような理由を基に位置や判定しているかを、それまでに至るプロセスを自分の頭の中で実況をすること <p>②片寄達氏より</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒コーチから問われた時に曖昧に返答するのではなくクルーで協力をし合い解決をすること <p>漆間大悟氏より</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒体の向きを工夫すること(Lレフリーで3ポイントを確認できたらTレフリーに合図を送った後、5番エリアへ体を向ける) <p>③片寄達氏より</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒5秒をカウントするにあたってタイマーなどを活用して正確に時間をカウントすること <p>漆間大悟氏より</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒声を使ってテーブルオフィシャルに伝えること <p>実践を通して: ゲームのなかで疑問に思った現象に対して、講師の方々から明確に答えを頂き、また実践へ繋げていくことができた。必要に応じて、位置やアングルの捉え方をゲーム中に直接指導頂いた。</p> <p>3POをやる上でエラーが起きた。例えば、ローテーションを始めたが、すぐに逆サイドにボールが展開してしまい、Cレフリー一人では捉えられない場面を作ってしまったなどである。エラーが起きると、必然的に</p>

ローテーションにトライをすることが減少をしてしまうが、講師の方々からアドバイスを頂いた通りに、トライをし続けることで良いアングルやポジションを捉えることができた。エラーが起きたとしても萎縮せずにトライしていきたい。

19:00 コート研修 (上田篤拓氏/加藤誉樹氏/漆間大悟氏)

- ・声を使ってテーブルオフィシャルに伝える
- ・ローテーション (TからCへローテーションをする際、ボールからチャック・アウトをするタイミング)
- ・バックコートでOFを判定した後のローテーション

■2日目 1月6日(土)

9:00 ワークショップ

- ・試合の映像を見て、メカニクス、ジャッジ、プレゼンテーションについて英語のみでディスカッション
- ・上記ディスカッションをした内容を一人ずつ発表

ワークショップを通して：まずは“伝える”ことが重要であると知った。文法を用いて話すことも重要ではあるが、ゲーム中のタイムアウトなど、時間が限られている中で、何を伝えたいのかを端的に伝えるが重要である。国際審判として活動をする上で、場面を想定して、会話の知識を増やしていく必要性を感じた。

10:50 準備

11:00 実技 (①平育雄氏②堀内純氏③上田篤拓氏、細田知宏氏)

※内容：1日目と同様。

①平育雄氏より

⇒ドライブに対してクロスステップを活用し、ポジションをアジャストしていくこと

②堀内純氏より

⇒ローテーションをする・しないの姿勢をはっきり示すこと

姿勢を示すことで他のクルーに伝達でき、スムーズにローテーションを完了することができる

③上田篤拓氏より

⇒T レフリーの位置が高いが為に、アングルが捉えられていない。プレイに対してレフェリーディフェンスを意識し、ポジションへアジャストしていくこと

細田知宏氏より

⇒バックコートでのローテーションは間違っていたとしても受け入れ、後で反省をすること

実践を通して：声を使ってテーブルオフィシャルに伝えることを積極的に行った。声を使うことで、頭の中で、状況を整理することができ、根拠を確実に持った状態で判定をしていると実感できた。

17:30 開講式 JBA 審判部 高森英樹氏

所 感

本研修では、3PO メカニクスの講義を受け、学んだことをゲームで実践することができました。その中で、以下の点が課題としてあがりました。

- ・ローテーションをするタイミングを逃す
- ・プライマリーアングルを持って現象を捉えたが遠い距離だったのが気になり判定できない
- ・目の前のプレーよりも3人の位置が気になる

3POのメカニクスをしっかりと理解をしていれば、迷わず判定ができたのだと感じました。

3POのメカニクスにおいて、今後さらなる理解をする為に、3POができる機会に率先して参加していこうと思います。その中で、他者から頂いた意見を真摯に受け止め、改善し、自身でもビデオを取って分析するなど、理解を深めていきたいと思っています。

U32ヤングオフィシャルキャンプに参加することができ、大変うれしく思います。ありがとうございました。全国から集まった審判の仲間と知り合うことができたのもかけがえのない機会でした。このつながりを大事にしていきたいと思っています。

研修に対してご尽力いただきました、講師の方々をはじめ、日本バスケットボール協会審判部の方々に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

以 上